

経団連自然保護協議会2025年度シンポジウム
2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）第5回ビジネスフォーラム
登壇者紹介

《基調講演・コメンテーター》



東北大学生命科学研究科教授兼
変動海洋エコシステム高等研究機構（WPI-AIMEC）
ユニットリーダー／主任研究員

近藤 倫生氏

（こんどう みちお）

＜経歴＞

東北大学およびWPI-AIMEC教授。「自然のバランス」や生態系のダイナミクスに関する基礎研究を行う一方、環境DNAを用いた生物多様性観測網「ANEMONE」の構築を主導、世界12カ国と連携した観測システムの国際展開も進めている。COI-NEXT「ネイチャーポジティブ拠点」の代表として、科学に基づく政策提言、国際標準化、人材育成を推進し、産官学の連携を通じて地域におけるネイチャーポジティブの実現を目指す。

《パネリスト（地域と企業の価値創造に向けた具体的な戦略とロードマップ）》



栃木県 那須塩原市長

渡辺 美知太郎氏

（わたなべ みちたろう）

＜経歴＞

1982（昭和57）年生まれ。

会社員を経て、衆議院議員秘書、参議院議員、財務大臣政務官を歴任。2019（平成31）年4月から那須塩原市長（現在2期目）。「那須塩原らしさ」の具現化に向けて、大手企業を含む官民連携で取り組む。座右の銘は「温故知新」。趣味は、美術館めぐり、クラシック音楽鑑賞、ランニング、子どもとスキー。



麒麟ホールディングス株式会社
常務執行役員 CSV戦略担当

藤川 宏氏

（ふじかわ ひろし）

＜経歴＞

1987年に麒麟ビール(株)に入社。営業・留学・マーケティング・秘書などを経験後、複数のM&A業務に携わり、麒麟グループの国際化に取り組む。豪州、シンガポール、ミャンマーなどに駐在し、各地でトップマネジメントに加わり、事業経営を経験。2017年から麒麟ホールディングス(株)人事総務部長、2019年からは3年間公益財団法人日本サッカー協会への出向を経て、2022年からCSV戦略部長。2024年3月より現職。

経団連自然保護協議会2025年度シンポジウム
2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）第5回ビジネスフォーラム
登壇者紹介

《パネリスト（地域と企業の価値創造に向けた具体的な戦略とロードマップ）》



paramita株式会社
Co-founder

林 篤志氏

（はやし あつし）

＜経歴＞

paramita Co-Founder。

Next Commons Lab Founder。ポスト資本主義社会を具現化するための社会OS「Local Coop」、デジタルアートを保有して気候変動問題を解決する「SINRA」を展開。自治体・企業・起業家など多様なセクターと協業しながら、新たな社会システムの構築を目指す。



株式会社肥後銀行
地域振興部 部長

大野 隆氏

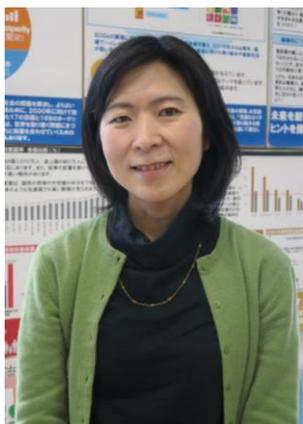
（おおの たかし）

＜経歴＞

熊本県出身。九州大学経済学部卒業後、肥後銀行入行。サステナビリティ推進室立ち上げ後、室長として地元企業のSDGs支援に従事。現在は地域振興部長として、産学官金連携による脱炭素化、地下水保全等の地域課題解決を推進。

2022年くまもとSDGsアワード対象、2025年プラチナ大賞優秀賞受賞。

《モデレーター》



一般社団法人
環境パートナーシップ会議 代表理事

星野 智子氏

（ほしの ともこ）

＜経歴＞

環境、パートナーシップ、SDGsをテーマに、対話の場づくりなど協働推進、市民活動の促進のための講演やワークショップなどを多数行っている。2003年から国連大学と環境省が共同運営する地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）の運営に携わる。（一社）SDGs市民社会ネットワーク 理事、（一社）海外環境協力センター 理事、（公財）日本自然保護協会評議員。

《全体司会進行》



フリーアナウンサー
自然共生サイト広報大使

富永 美樹氏

（とみなが みき）

＜経歴＞

専業主婦を経て2006年よりフリーアナウンサーとして活動中。2022年、51歳で移住先の富士山の麓にて友人たちと起業、庭作りの会社の代表もつとめている。